

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年9月12日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300666
法人名	(有)イーライフ
事業所名	グループホーム 明
所在地	鹿児島県鹿屋市祓川町3982番地1 0994-43-055 (電話)
自己評価作成日	平成30年8月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成30年8月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

平成15年に開設し、運営理念にもなっている認知症になっても普通の暮らしが出来、安心、安全で穏やかな暮らしができるように職員一同取り組んでいます。経管栄養や医療的な処置の必要な利用者様も多い為、日中は常時看護師が居る勤務体制にしています。ホームでの看取り希望の御家族も多い為、穏やかに最後を迎えて頂けるように全職員研鑽に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○ ホームは、市中心部より数キロ離れた閑静な農村地帯に設置され、近くには小学校や協力医療機関、住宅等があり、利用者は四季を感じながら平穏に過ごせる環境となっている。開設以来、地域との円滑な交流に努めており、地域の行事や奉仕作業に積極的に参加し、ホームの敬老会や火災訓練等には家族や地域住民の参加が得られている。また、整髪や踊りのボランティアを積極的に受け入れ、日常的に地域の人々と会話し農作物を頂くなど、地域に密着した交流が図られて利用者の楽しみとなっている。

○ 管理者及び職員は、理念に沿って利用者一人ひとりの誇りや尊厳を大切にしながら思いや意向を把握し、利用者主体の笑顔に満ちた平穏な暮らしに取り組んでいる。利用者や家族からの意見や要望に対しては、職員全体で協議して積極的に改善を図るなど、より良いサービスの実践に取り組んでおり、利用者や家族の信頼や安心感に繋がっている。

○ 利用者の重度化に伴い、約半数がおむつを利用しているため、ホーム全体での遠方への外出が困難な状況となっている。利用者の外出に対する意向も様々ある中で、可能な限り希望に添えるような体制づくりや、外出先の選定等の工夫が必要とされており、管理者及び職員は、外出支援を努力目標に定めて、改善に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営 温もり館					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	安心、安全で穏やかな暮らし。健康で温もりのある暮らしが送れるように地域と共に支え、支えられながら明るく生活が送れるように理念を掲げ共有しサービスを提供している。	開設時に作成したホームの理念を各ユニットの玄関に掲示し、理念の中の言葉「穏やか」「温もり」を各ユニット名にして常に職員全員で意義の共有を図っている。日々の申し送りや月1回開催のケア会議、職員会議でケアの振り返りや意見交換を行って、理念に沿った支援の実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会にも加入し、地域の奉仕作業にも参加している。敬老会や避難訓練等は地域の方々への声掛け行い参加してもらっている。	町内会に加入し、地域の奉仕作業やイベント等に積極的に参加し、自治会総会時の会場の提供や、日頃住民から寄せられる高齢者福祉に関する相談等に対し丁寧な助言に努めている。ホームの敬老会や避難訓練には地域の人々の参加が得られ、利用者は散歩や買い物、通院時に地域の人々と会話し、家族や友人知人の来訪やボランティア（踊りや整髪等）を積極的に受け入れ、また、日常的に農産物を頂くなど円滑な交流が図られている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	ホームの行事等に招待しその際介護相談にのっている。また町内会長や民生員との連携もとっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回多種多様な職種の方の参加をお願いしている。行事報告やヒヤリハットの報告等を行い、困難事例は助言等もらっている。</p>	<p>会議は家族代表、民生委員、住民代表、消防団長、市担当職員等が参加して定期的に開催している。ホームの現況やヒヤリハット事例、外部評価等の報告を行い、委員からは利用者のケアに関する質問や地域の情報、防災に関する意見等が出されており、委員の提案で避難経路や側溝整備等の改善が図られている。内容は議事録で共有し、職員会議等で検討してサービスの向上に反映させている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>必要時は市の担当者へ連絡し相談やアドバイス等受け協力関係を作ったいる。</p>	<p>市職員には、運営推進会議に出席してもらうと共に、介護保険更新や各種報告書の提出、ホームの運営や利用者の状況に関わる相談等を行って、助言・指導を頂くなど、協力関係を築いている。行政やグループホーム連絡協議会主催の会合や研修会等に積極的に参加して、行政職員や他施設職員と意見交換等を行ってサービスの向上に活かしている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束の勉強会を開催したり、研修に参加したりしている。身体拘束委員会も立ち上げている。</p>	<p>身体拘束に関する研修を計画的に実施し、身体拘束委員会も開催してケアの振り返りや意見交換を行って共通の認識を図っている。利用者の尊厳やプライバシーを大切に言葉づかいやケアの実践に日々努めており、昼間は玄関等の施錠は行なわず外出したがる利用者には一緒に散歩や寄り添いに努めて安全を確保するなど、拘束のない自由な暮らしの支援に取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	ケア会議等で、勉強会を行い虐待について話し合い、虐待のないケアに努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修等に参加し知識取得に努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項説明書で契約、解除の説明を行い、家族の理解、納得が得られるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時現状報告し、家族からの要望や意見の聞き取りしている。玄関には意見箱も設置している。それらの意見や要望を取り入れ運営に反映している。	利用開始時に利用者や家族から意見等を聞き取り、入居後は利用者の意見や思いを日常の会話や表情、仕草等から把握に努めている。また、家族からは面会や運営推進会議、イベント時の対話、家族会等で気軽に意見を出して貰い、職員全員で対応を検討して改善に取り組んでいる。検討の結果については、本人や家族にも説明して理解を得ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者は毎月会議を開催し、職員の意見や提案を聞き、運営に反映させている。	管理者は日頃よりコミュニケーションを大切に信頼関係の構築に努めており、業務の中や職員会議、個人面談等で業務に関する意見や個人的な事情等を把握し、協議して業務の改善やサービス向上に繋げている。勤務シフトや外部研修の参加等は可能な限り職員の希望を反映させる等、常に働きやすい職場環境の整備に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	毎月の勤務希望を取り入れ、親の介護や子育て等の職員も働きやすい職場作りに努めている。職員、パート共に研修等参加し向上心が保てるように努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修や勉強会への参加の機会を確保し、ミーティングや会議時に情報の共有をしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修や会議時に情報交換やネットワーク作りを行っている。またボーリング大会等へ参加して交流を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人や家族に入所前や入所時に困っている事や不安な事、要望等の聞き取りを行い、安心の確保に努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所前に家族の困り事や不安に思っていることはないか聞き取りを行いながら関係づくりを行っている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入所前に聞き取りや情報提供ももらいまず必要としているサービスの見極めを行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者一人一人の能力に応じた【できること】はやってもらい、できない事は支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族ならではの支援をお願いし、面会や行事等と一緒に過ごせる場所の提供し共に支える関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出の機会の少ない人でも面会時にゆっくりと過ごせるように空間づくりに努めている。	入所前の生活状況を基に、利用者の馴染みの情報を共有している。家族や友人の来訪時にはゆっくり過ごせるように配慮し、電話や手紙の取り次ぎに努め、本人の希望に沿って散歩や買い物、一時帰宅、墓参、ドライブ等を家族と協力して支援している。遠方の家族には、園便りで利用者の状況を伝えるなど、馴染みの人や場との関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係性を把握し会話や関係性がうまく図れるように支援し、孤立しない様に支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても立ち寄ってもらえるような関係づくりに努め必要に応じて本人や家族への相談や支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	常に利用者一人一人の思いや、希望に沿った意向の把握に努めている。困難な場合は本人本位に検討している。	利用者の思いや意向を、日頃の関わりの中で理解に努め、申し送りやケア会議等で共有して最善のケアに努めている。その人らしく、生きがいのある生活が過ごせるように、習慣を尊重し趣味（ぬり絵、ソロバン、読書等）や外出、レクレーション等の取り組みを、可能な限り希望に添って個別の支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に必要な情報収集に努め、本人家族からの聞き取りもしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日健康観察やバイタル測定を行い健康状態の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人がより良い生活をするための課題が出てきたら、本人や家族との話し合いの場を持ち意見を聞いている。職員同志で課題が出てきた時点で話し合いをしている。	本人・家族の想いや主治医の助言等を把握し、モニタリングやケア会議時の意見を基に、具体的で解りやすい介護計画を作成している。ケアの状況は「業務日報」「個別日常生活記録」等で共有し、本人主体のケアの実践に努めている。定期的な見直しに加え、状態変化時には計画の修正等を行って、実状に沿った支援に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日勤帯、夜間帯共に記録を残し全職員が情報を共有出来るようにしている。また申し送りノートや評価表等へも記録し介護計画の見直しにも役立てている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人家族にとって最善のサービスが行えるようにコミュニケーションを密にして柔軟な対応をしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	安心して豊かな暮らしが出来るように、地域資源の把握に努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は本人、家族の希望聞き、納得の上で決めている。かかりつけ医との信頼関係を築きながら適切な治療が受けられるよう支援している。	利用者の病歴等を把握し、本人・家族が希望する医療機関での受診を支援している。主治医による定期的な訪問診療や家族と協力して通院や他科受診を支援しており、病状や受診結果等は家族にも報告する等、密に連携を図っている。病状や受診結果は「業務日誌」等で情報を共有し、医療機関との連携体制も構築されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日勤帯は常時看護師が勤務しているので状態変化時は速やかに報告し支持を仰いでいる。毎週訪問看護も来るので状態報告している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>協力医療機関と密に連絡取り合い相談、情報交換を行い、利用者に摂って最善の環境で治療に専念出来る関係作りが出来ている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期のあり方については早い段階から家族と話し合いを行い本人、家族の意向に添えるようにしている。主治医や訪問看護共、密に連絡をとっている。</p>	<p>重度化や終末期の対応は「重度化した場合の対応に係る指針」を整備しており、入所時に本人や家族に説明して理解を得ている。利用者が重度化した時点で、主治医から病状が説明され、職員や関係者、家族は繰り返し話し合いを実施して、ホームとして可能な限り希望に添った支援を、家族と協力して取り組んでおり、これまで多数の看取りを実施している。看取り後は、振り返りを実施して、スキルアップに努めている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>常に利用者一人一人の状態を把握し急変時や事故時は速やかな対応が出来るように日頃から看護師や訪問看護から学んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を行い、地域の方々や地域の消防団、消防本部の参加をもらい速やかな避難が出来るように体制を築いている。	消防署の協力を得て、夜間を含む火災を想定した避難訓練や消火訓練を地域住民も参加して年2回実施し、災害に関する講話や消火器取扱い等の訓練も行っている。また、報道された災害事例を基に全員で意見交換する等、防災に関する意識は高く、スプリンクラーや自動通報装置、自家発電、井戸が設置され、災害発生時の食料・飲料水等も整備されている。、	
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	オムツ交換時やトイレ使用時は必ずプライバシーの確保してカーテンや扉を閉めている。声掛けも一人一人の人格に合わせて対応している。	人格の尊重やプライバシーの確保、個人情報保護については計画的な研修の実施で周知を図り、常に配慮したケアの実践に努めている。特に居室への入室や排泄・入浴・更衣等のケアに際しては、尊厳を損ねる言葉や対応を行わないように努めており、居室やトイレ、浴室等はプライバシーが確保された構造となっている。、ケアに関する台帳類も適切に取り扱われている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定の意思表示ができない利用者は日頃の表情や動きなどで思いを汲み取る努力をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課表はあるがその日の体調や本人の希望に沿って生活してもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	身だしなみができない利用者の方は職員が手伝い、ボランティアの散髪等でおしゃれを楽しんでもらっている。職員も散髪の支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みを日常の会話の中で聞いて提供出来るようにしている。	利用者毎の嗜好や形態、栄養バランス、疾病に伴う摂取制限、季節感等に配慮し、住民から頂いた野菜等も活用して調理している。行事食やそば打ち、手作りのおやつ、家族との会食、レストランでの外食等、食事が楽しみなものになるよう工夫し、食材の下ごしらえや食器の片付け等は利用者も楽しみながら行っている。食事や水分の摂取量の把握や服薬の支援、口腔ケアをプランに沿って適切に支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食食事量、水分量の確認記録を行い必要な栄養や水分が取れるように支援している。嚥下が悪い方にはミキサー食や水分をゼリーにしたりして工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自分で出来る方は自分でしてもらい、出来ない方や完全ではない方は全介助や一部介助している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄記録簿を参考に、排泄の失敗が少なくなるように一人一人の排泄パターンを把握して声掛けやトイレ誘導している。	利用者各人の排泄パターンを把握し、可能な限りトイレでの排泄を支援しているが、重度化により約半数がおむつを利用中である。食事や水分の摂取状況や運動量も把握しながら便秘の予防に努め、介護用品・用具の工夫や支援方法等を介護計画に反映させて支援に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便記録を参考に一人一人のは排便状態把握して状況に応じて、腹部マッサージや運動、必要時は下剤や浣腸にて対応している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	原則毎日入浴としているが、体調を考慮して、その時々に応じた支援行っている。	利用者の健康状態を把握し隔日の入浴を基本としており、排泄の失敗等には即時に清拭や入浴で清潔を保っている。リクライニング式シャワーチェアも導入し、時間や温度等は希望に柔軟に対応し、ゆっくりと気持ち良い入浴を楽しんでもらうように配慮している。入浴を渋る利用者には、時間や声掛け等を工夫して意欲を待つように努め、入浴後の水分補給や皮膚疾患の手当等も利用者の状況に応じて支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	高齢者の為できるだけ本人の希望で午前午後居室で休んでもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の処方があれば職員は説明書を読んで、症状の変化等あればスタッフ同士で情報の共有し主治医へ報告している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の能力に応じて家事手伝いやレクリエーション等の参加促し生活に楽しみや役割が持てるようにしている。また嗜好品等は希望があれば購入している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外食や外出の機会を持ち戸外へ出かけられるように支援している。気候が良い時は施設周辺を散歩に出かけている。本人が望まれば家族へも外出のお願いしている。	利用者一人ひとりの外出への意向は日頃の関わりの中で把握し、散歩やドライブ、買い物、通院、一時帰宅等の外出を家族と協力して可能な限り個別の支援ができるよう取り組んでいる。ホーム全体でも季節の花見や地域のイベント見学などに、車椅子対応の車を活用して出かける等、リフレッシュに努めているが、利用者の重度化に伴い対応に工夫を要しており、現在、外出支援を努力目標に定めて取り組んでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人が金銭所持はしていないが、施設で預かり金として保管し希望があれば家族の承諾を得て使えるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族からの電話の取り次ぎや本人の希望で家族へ電話をしたり、手紙の代読等必要に応じてしている。	/	
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には時計やテレビ、季節を感じられる掲示物、カレンダー等をおいて季節を感じてもらっている。空気の入替えや温度、湿度管理も行い調整している。	建物全体が余裕ある広さで明るく、リビングにはテーブルセットやテレビ等が利用者の動線や利便性を考慮して設置され、和やかで落ち着いた雰囲気となっている。随所に利用者の作品や写真等が飾られ、手すりの設置や清掃、整頓、空調、衛生面にも細かに配慮して、安全で気持ち良い生活環境の整備に取り組んでいる。田園風景が望め利用者は四季を感じながら日光浴や散歩を楽しむなど、平穏な日々を過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者同士の関係性を把握し会話の空間の提供やテレビを見やすいところにソファを置いたりして思い思いに過ごせるように工夫している。	/	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族との写真や自ら作成された、作品を居室やホールに掲示している。使い慣れたものなど家族が持ってこられたものを奥などして居心地良く過ごせるようにしている。</p>	<p>各居室には、エアコン、ベッド、整理タンス、クローゼットが利用者の身体状況や利便性に配慮して備えられ、利用者の意向に沿って清掃等を支援する等、安全で快適な生活の維持に取り組んでいる。家庭と同様に落ち着いて過ごせるように、使い慣れた寝具や家族写真、小物等を自由に持ち込み、自身の作品も飾って、その人らしい和やかで居心地の良い居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者の希望やニーズに合わせてソファに座ったり、横になってテレビを観たりできるようにしている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		<input checked="" type="radio"/>	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		<input checked="" type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない